

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第13号

令和 7年 3 月 発行

発行/愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集/愛川町総務部政策秘書課

延伸の早期実現について要望活動を展開

小田急多摩線の延伸の早期実現に向け、当協議会と相模原市の「小田急多摩線延伸促進協議会」「田名地区公共交通整備促進協議会」及び町田市の「町田小山小田急多摩線延伸促進協議会」「小田急多摩線延伸を促進させ最寄り駅を誘致する会」「小田急多摩線小山田駅早期実現協議会」の6団体合同で小田急電鉄株式会社及び神奈川県、相模原市、町田市に対し要望活動を実施しました。将来、リ



神奈川県への要望

当協議会の古座野会長（左から4人目）から要望書を受け取る
橋本副知事（左から5人目）

ニア中央新幹線の神奈川県駅（仮称）が橋本に設置され、日本経済牽引の一翼を担うこととなる首都圏南西部において、小田急多摩線の延伸は必要不可欠であることから、こうしたまちづくりの動向等を踏まえた中で、早期に延伸が実現するよう、要望書を提出するとともに、意見交換等を行いました。（これまでの延伸に関する経過等については、裏面をご覧ください。）

愛川町に「小田急多摩線」への夢乗せて

小田急多摩線の延伸事業や当協議会の活動を広く皆さんに知っていただくために、令和6年8月の「勤労祭野外フェスティバル」にて啓発グッズやチラシを配布するとともに、10月の「ふるさとまつり」にブースを出展し、パネルの展示やペーパークラフト作成体験を実施しました。今後も引き続き、様々な機会を捉え、PR活動を展開してまいります。



勤労祭でのPR活動

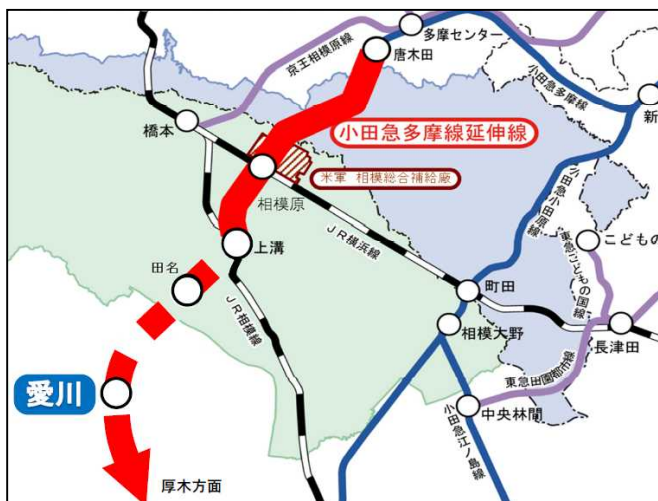


ふるさとまつりへのブース出展

小田急多摩線の延伸に関するこれまでの経過

●延伸に関する位置づけ

小田急多摩線の愛川町方面への延伸については、昭和43年に県の「鉄道輸送力増強促進会議」を通じて町が小田急電鉄へ要望したことに始まりました。その後、平成12年には、国の運輸政策審議会の答申（答申第18号）において「今後整備について検討すべき路線」として、唐木田から横浜線・相模線方面への延伸が位置付けられましたほか、平成28年の交通政策審議会の答申（答申第198号）では、上溝までの延伸が明記されるとともに、本町方面へは、上溝までの整備の進捗を踏まえつつ検討するものとされました。また、令和4年に改訂された県の「かながわ交通計画」では、本町方面への延伸が、今後のまちづくりの動向等を踏まえて検討する「構想路線」として新たに位置付けられました。



●今後に向けて

延伸実現には、採算性の確保や関係機関の合意形成などの課題もあります。こうした中で、相模原駅北口の相模総合補給廠一部返還地では、小田急多摩線の延伸を見据えたまちづくりが検討されているほか、リニア中央新幹線の開通や本町の「観光・産業連携拠点づくり事業」など、地域の活性化に繋がるまちづくりも進んでいますので、こうした機会を捉え、課題解決に向け、引き続き関係機関への要望活動や機運醸成に向けた取組みを行ってまいります。



愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（42団体）

[自治会]

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

[商工団体]

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地共栄会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、あいちゃん商店会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》